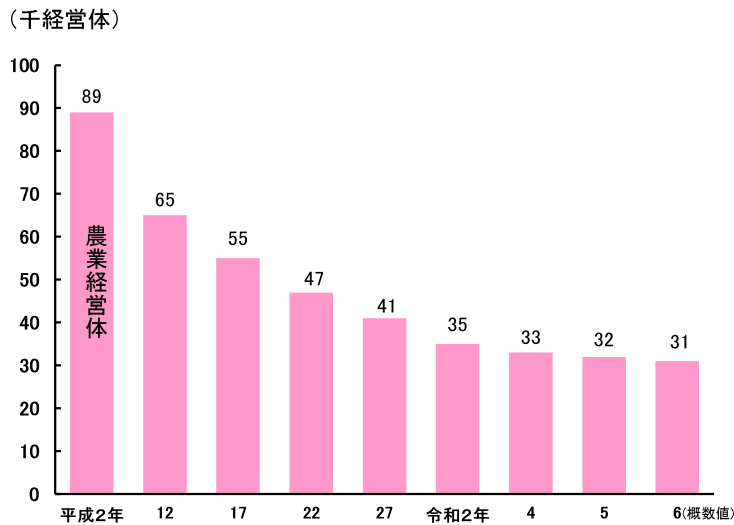


第1 農業経営体

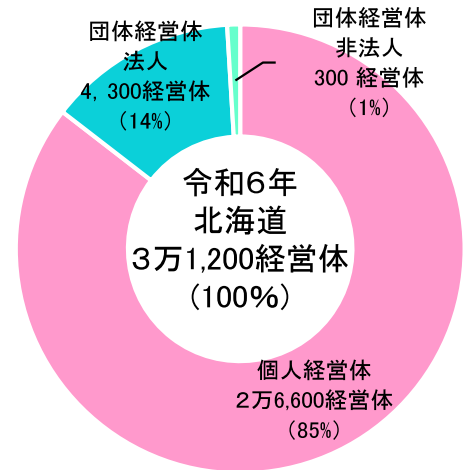
- ・北海道の農業経営体数は、3万1,200経営体（都府県85万2,100経営体）。うち個人経営体が2万6,600経営体で9割弱（都府県81万5,700経営体）。

(1) 北海道の農業経営体数の推移



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」、「農業構造動態調査結果」
 注：平成2・12年の農業経営体数は、販売農家、農業以外の農業事業体及び農業サービス事業体数を合計した事業体数である。

(2) 北海道の農業経営体数の内訳



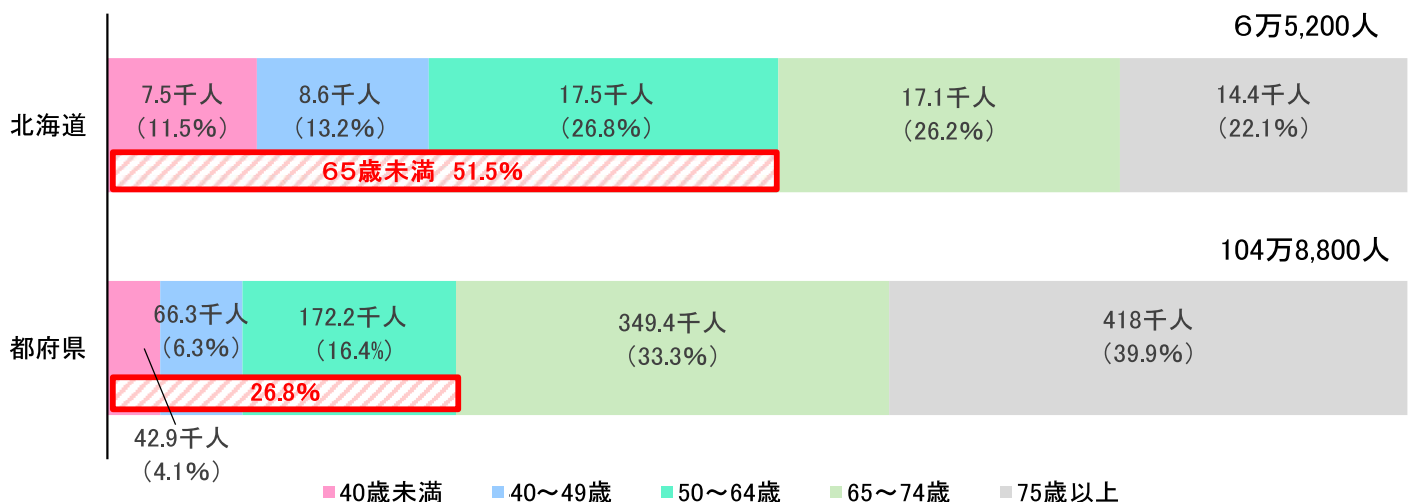
資料：農林水産省統計部「農業構造動態調査結果の概要（概数値）」

< 用語解説 >

- 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、一定の基準を満たす規模の事業を行う経営体をいう。
- 個人経営体：個人（世帯）で事業を行う経営体をいう。なお、法人化して事業を行う経営体（いわゆる一戸一法人）は含まない（団体経営体として計上）。
- 団体経営体：個人経営体以外の経営体をいう。

第2 基幹的農業従事者（令和6年）

- ・北海道の基幹的農業従事者は6万5,200人。65歳未満が約5割。



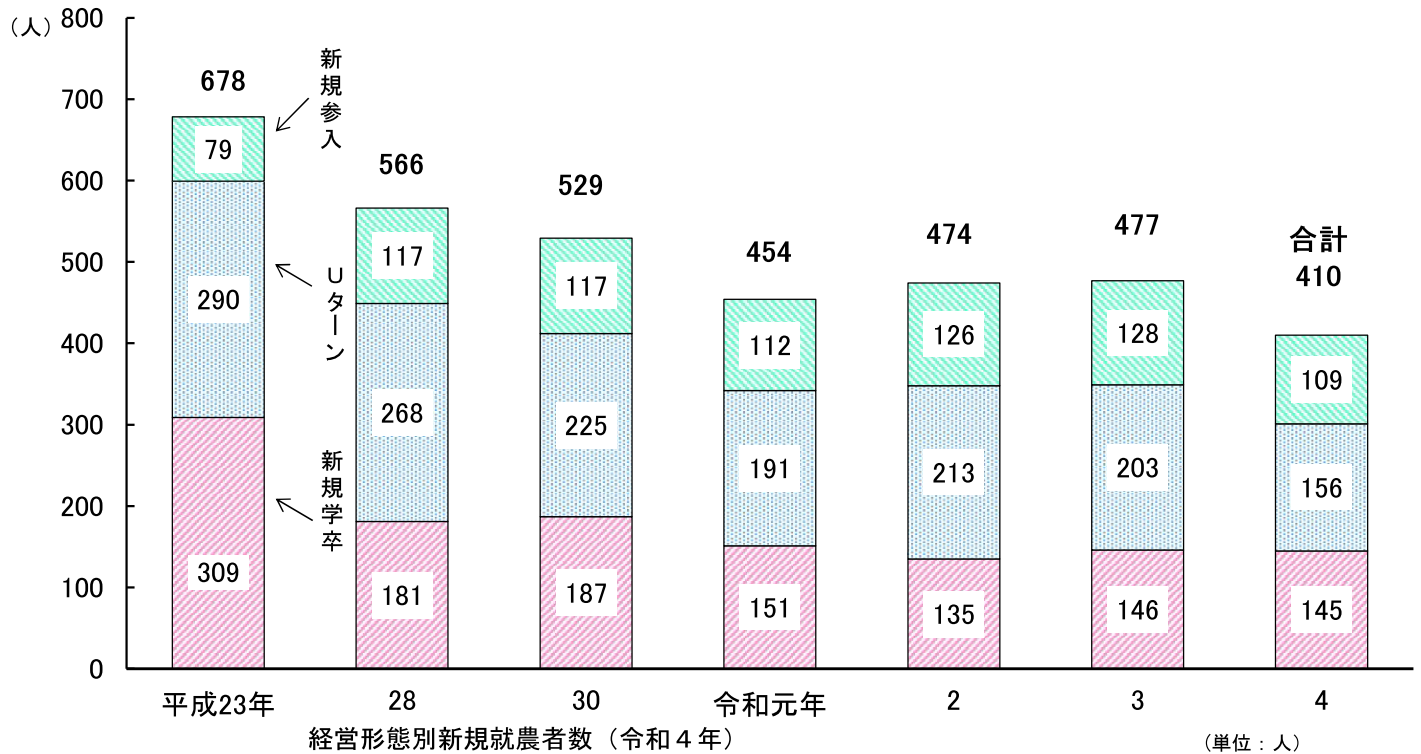
資料：農林水産省統計部「農業構造動態調査結果の概要（概数値）」

< 用語解説 >

- 基幹的農業従事者：15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

第3 新規就農者数の推移

- ・北海道の新規就農者数は、近年は470人程度であったが、令和4年は410人。
- ・新規参入は、初期投資が少なくて済むことなどから野菜への就農が多い傾向。



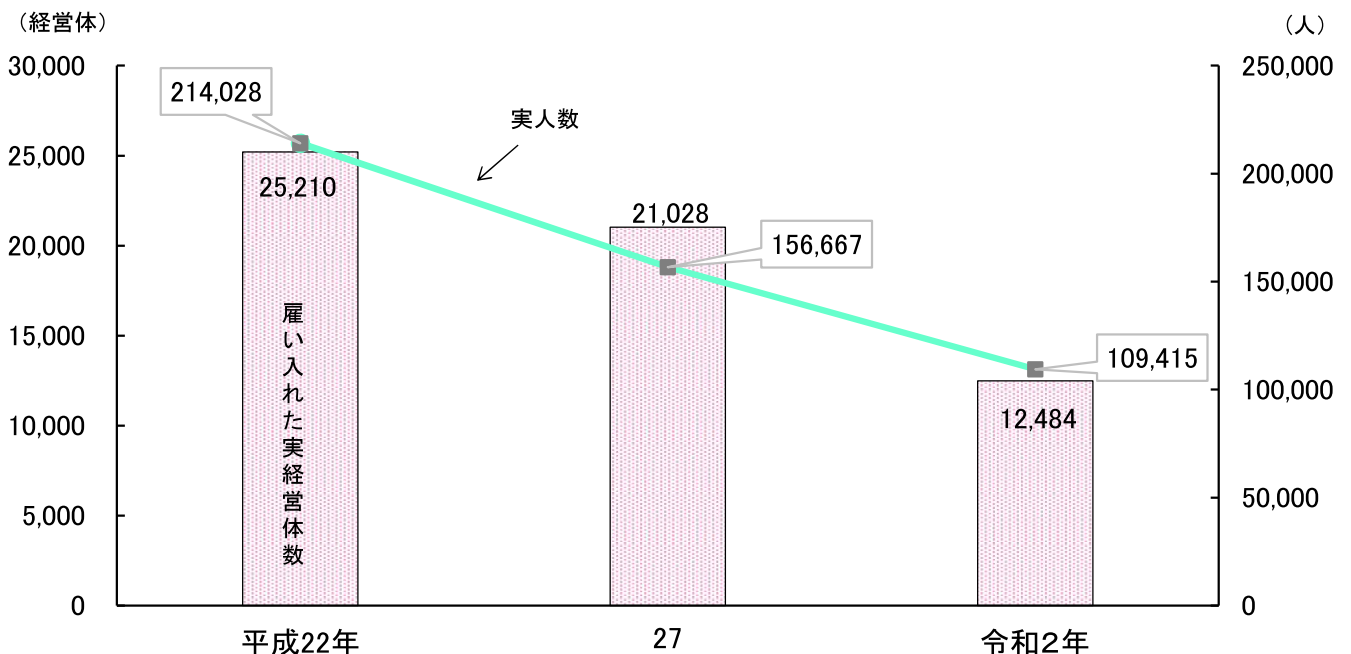
	稲作	畑作	野菜	果樹	花き	酪農	肉牛	軽種馬	その他	合計
新規学卒	22	79	13	0	1	28	2	0	0	145
Uターン	50	50	24	0	0	20	10	1	1	156
新規参入	4	12	51	10	1	17	5	0	9	109

資料：北海道農政部技術普及課「令和4年(2022年)新規就農者実態調査結果の概要」を基に北海道農政事務所で作成

注：新規学卒とは農家出身者で学校を卒業後、直ちにまたは研修を経て就農した者。Uターンとは農家出身者で他産業に従事した後、就農した者。新規参入とは農外から新たに就農した者。

第4 農業経営体の雇用状況

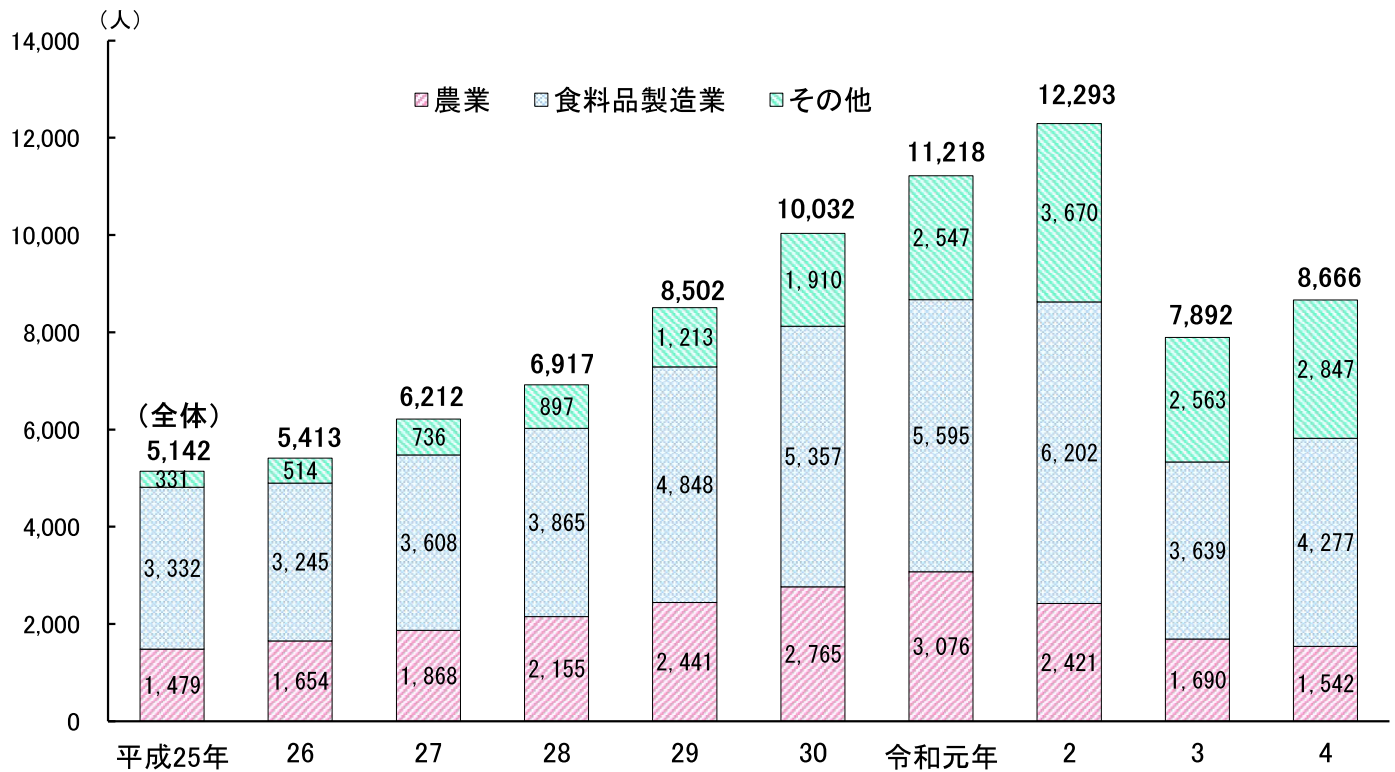
- ・北海道において雇い入れた実経営体数（令和2年）は1万2,484経営体、実人数は10万9,415人。



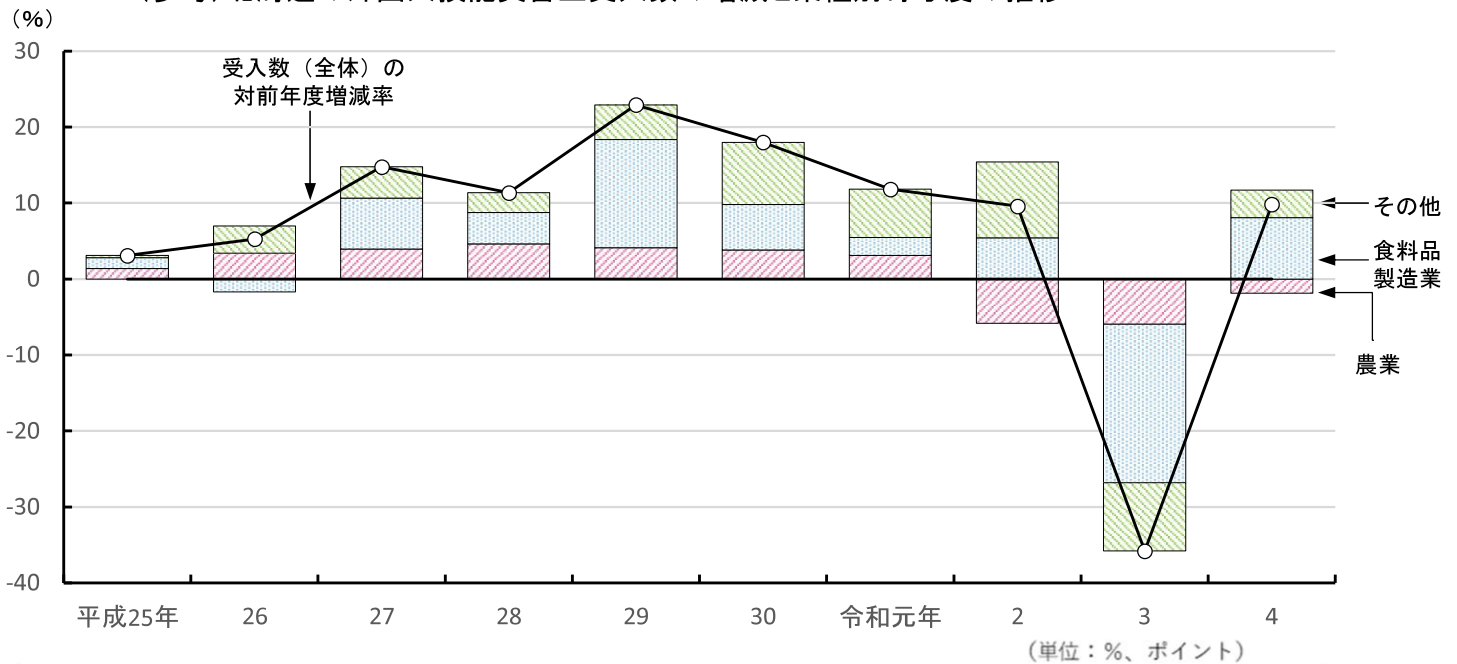
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

第5 外国人技能実習生の状況

- ・北海道の外国人技能実習生の受入数（令和4年）は、新型コロナウイルス感染症の影響の緩和もあり前年度からやや増加し8,666人。
- ・うち農業分野については、148人減の1,542人。



(参考)北海道の外国人技能実習生受入数の増減と業種別寄与度の推移



		平成25年	26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4
寄与度	全 体	3.1	5.3	14.8	11.3	22.9	18.0	11.8	9.6	▲35.8	9.8
	農業	1.4	3.4	4.0	4.6	4.1	3.8	3.1	▲5.8	▲5.9	▲1.9
	食料品製造業	1.4	▲1.7	6.7	4.1	14.2	6.0	2.4	5.4	▲20.8	8.1
	その他	0.3	3.6	4.1	2.6	4.6	8.2	6.3	10.0	▲9.0	3.6

資料：北海道経済部調べ「外国人技能実習生に係る受入状況調査」を基に北海道農政事務所で作成

注1：令和元年調査までの調査期間は暦年（1/1～12/31）、令和2年度から年度（4/1～3/31）に変更。

注2：「その他」は、建設関連工事業、機械・金属製品製造業、衣服等製造業、漁業、介護、その他の合計。